

2007.3月号

NIPPON GOOD PARTS



NGP北信越 新工場が竣工式を挙行

使用済自動車の一貫処理体制を実現したシュレッダー工場が本格稼動

2004年6月に設立された「NGP北信越リサイクル協同組合」(以下「NGP北信越」)は去る1月30日に新工場の竣工式を挙行了しました。

この工場はプレシュレッダー1基とシュレッダー1基を備えており、使用済自動車の引取り、部品生産、解体、破碎、シュレッダーダストの排出までを一貫して行う体制を新たに構築しました。



新工場にはシュレッダーを完備

新工場の設立経緯

れ多く
たの竣
工関
式係
者者
をを
集集
めてめて
執執
行行
わ



NGP北信越の新工場は昨年の11月から稼働を始めたシュレッダー設備を備えたりサイクル工場です。

リサイクル法施行後、使用済自動車が解体事業者ではなく、シュレッダー工場に直接流れてしまっている経緯から、NGP北信越ではリサイクル部品の生産、車両解体、破碎作業、シュレッダーダストの排出まで一貫した適正処理工程を実現することで、使用済自動車を確保し、そこから部品の生産や資源としての活用

を図り、より一層自動車リサイクルの活性化を目的に新工場を設立しました。

今回の竣工式を機に新工場は本格稼働を開始。使用済自動車を出来るだけ国内で流通する部品は取り外した上で解体する流れを作って行きたいとしています。

NGP北信越の堀川健志理事長は「新工場の稼働によって、組合員の間でさらに効率良く、たくさんの中古部品を生産し、流通できる仕組みを作り上げていきます。また、使用済自動車の一貫処理工程を実現することで、他のシュレッダー会社やオークション会社との競争力を高め、使用済自動車の集収力でもリードしていきたいと考えています。」と語ります。

さらに中古部品の流通量を増やすため、NGP全体としての商品ラインナップの充実につながり、現在、NGP協同組合が推進しているMS50戦略実現の一助となるようNGP戦略と合致した取り

組みを進めていくとしています。

また、今後の展開としては「新工場では我々がシュレッダーの受け入れ基準を決めることができるので、解体処理の段階から極力、余分なものを取り外した状態で廃車ガラの受入れを目指しております。不純物が少ない状態での仕入れが実現できれば、さらに効率の良い全部利用ができますし、資源として効率の良いリサイクルが出来ると考えています。そのため仕入れ台数の絶対量を確保したい(プレスを集めたい)と考えておりますので、他支部のNGP組合員もご協力をお願い致します。」と堀川理事長は組合員に呼び掛けを行っています。

NGP北信越リサイクル協同組合工場概要	
敷地面積	8,200m ²
延床面積	1,950m ²
1時間当りの処理能力	35トン

説明を受ける渡辺副大臣(左)と中石室長(右)



リサイクル部品の 実物などを 経済産業省がロビーに展示

経済産業省は1月12日から25日まで、本館1階ロビーで自動車リサイクルの特別展示を開催しました。

展示初日には渡辺博道経済産業副大臣も訪れ、同省自動車課の中石齊孝リサイクル室長などがガイド役を務めて渡辺副大臣を案内されました。

同展示は昨年10月に行われた全国規模のチラシ配布や、12月のエコプロダクツ展への出展、またラッピングバスでのPR、電車の中吊り広告など自動車リサイクル法啓蒙の一環として行われたもので渡辺副大臣は説明を聞き「本省は自動車リサイクルを通じて環境や3Rに取り組んでいます。皆さんは解体事業者ではなく、環境保全を推進する事業者です。今後も支援するので頑張ってください。」と自動車解体事業者に激励の言葉を述べるとともに、改めて一般ユーザーに向けた自動車リサイクルの啓蒙活動の必要性を訴えました。

展示品としては車1台分をプレスしたサイコロ状のものから、エンジン、ドライブシャフト、オルタネータ、ディストリビュータ、ノーズカットなど多岐に渡り、隣のコーナーでは実車内にヘッドランプ、ラジエーター、後部にはテールランプ、左右にはウインドガラスのモーター類が平面的に配置され、電気系統へ流れるワイヤ・ハーネスの長さや多さに来場者も足を止めて見学していました。

啓蒙ポスターなども作成し、 離島対策支援事業を本格化



経済産業省などでは現在、自動車リサイクル法に基づいた離島地域で発生した使用済自動車を自治体が本土に運ぶなどの「離島対策支援事業」を強化しています。

日本には現在、離島の数が6,847あり、うち有人島が423、市町村ベースにして133自治体あります。こうした状況において離島における廃自動車のリサイクルは法施行後も大きな問題になっていました。

特に適正処理施設の問題で解体業の許可を取得している事業者が存在しないケースもあり、その場合、適正処理ができる本土の解体事業者まで離島から廃車を引き上げる作業が必要となります。行政では、その際の輸送運賃の八割補助を始め、支援体制を強化、今年度中に全国121の市町村との間で支援体制を構築する予定になっています。

また、補助金などの経済的な支援だけでなく、法律の普及、定着に向けた取り組み強化も今後の課題としており、「今回の啓蒙ポスターはほぼ全部の離島に配布する予定になっており、離島でも不法投棄車両根絶の機運が盛り上がってきている時期にあります。今回、この啓蒙ポスターを作製したことで離島への支援体制という一つの形が出来たこと、また一般ユーザーに主旨を理解してもらう絶好の機会だと考えています。来年度も引き続き離島支援の体制作りは続けていく予定です。」と経済産業省は今後、さらに離島対策支援事業を本格化していくとしています。

中古部品 & リビルト部品 活用術 Vol.5

電装系部品の交換時のチェックポイント

今回の活用術では、お客様からよくあるお問合せの中から電装系部品の交換時のポイントを紹介します。

電装系部品は水や熱に弱く、例えばオルタネーターあるいはスターターモーターなどは修理や交換をする際にも水が掛からないように用心して作業をしているメカニックも多いと思います。

この様に電装系部品は非常にデリケートなパーツであり、様々な故障要因が考えられるため、お客様の走行距離によって、なるべくならアッセンブリー交換を勧めると良いでしょう。

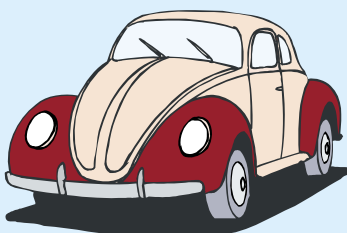
また、電装系部品の交換時の留意点としては（特に故障による交換）故障箇所の部品交換だけでなく、その部品が故障にいたった原因を追究し、部品取り付け後の再検査を行うことを心がけましょう。

電装系部品の場合は特に交換後の周辺部品のメンテナンスが重要です。

これを怠ると、新品部品やリビルト部品に交換してもすぐに故障したり、クレームの対象になることがあります。

ところで、最近では軽自動車にまでターボチャージャーは搭載されるようになりました。

ターボチャージャーの破損原因は オイルの劣化によってターボの軸となるベアリングが破損して、空気を圧縮するインペラーのバランスが崩れる タービン自体が約900度近くの高温となるため、それを冷却するラジエーター、あるいはラジエーターホースが劣化、損傷する。 CPUのチューニングを行った時などのケースがあります。このようにターボチャージャーの故障原因も交換部品の周辺に故障の原因があることが多いので部品取り付け後の再検査を実施しましょう。



多田自動車商会がISO9001認証を取得

NGP組合員・関西支部の(株)多田自動車商会(平田武士社長)は製品やサービス提供の品質に関わる国際規格「ISO9001」の認証を2006年12月26日付で取得しました。

同社では4年前にも環境ISO14001を取得しており、今回の認証取得でダブル取得となりました。同社の多田幸四郎会長は「ISO14001、9001のWタイトルを取得し継続的改善に努めることで、社員のレベルアップを図り、信頼度の高いINGPブランド商品を生産し続け、お客様により安心・信頼をして頂けるように常に努力をいたします。」平田武士社長は「業務の管理をシステム化し、品質管理、インフラ管理、お客様満足を社内全体に理解と実践するために私自身が品質管理責任者としてISO9001を業務に活かし、お客様に安心と信頼を継続していただける会社にします。」と語りました。



ISO9001の登録証

自動車リサイクル業界では、まだISOのダブル取得企業は数少ない現状であり、そこでNGP協同組合では本部としてISO9001取得に向け2月6日にキックオフミーティングを開催したところです。

第39回初期指導研修会を開催

NGP協同組合の新規組合員・榎並商会(代表取締役 榎並憲治)の経営者、フロント責任者、生産責任者など8名が参加した第39回初期指導研修会が去る1月17日から3日間、BumB 東京スポーツ文化館にて開催されました。初期指導研修会は基礎研修会や実務者研修会とは異なり、新たにNGP協同組合に加入する新規組合員にNGPマンとなる心構えとして三大信条やNGPの基本理念を学んでもらい、自社がNGPに入ってどのような取り組みを行っていくのか、など経営者や部門責任者に明確な目標設定を掲げて実践してもらうことを目的としたまさにNGPの根幹をなす研修会です。

組織委員会でも初期指導研修会は、新規組合員となる会社の経営者、あるいは部門責任者の人達にNGPという組織を肌で感じてもらう、これからNGPの仲間としてやっていく心構え、下準備をしてもらう場として最重要視しています。その中で経営者の方々には、はっきりとした意識付けをしてもらい自社の経営に組合のノウハウを活用いただけるような指導を行っています。

そのため、挨拶訓練、整列訓練など経営者の方々にも普段、NGPの研修に参加している受講生が行う基本訓練も研修内容に盛り込まれ、参加した社員全員と一緒に研修を行います。

研修の最後には研修生が決意表明を行い、NGP組合員としての所信表明と今回の研修で立てた自社の目標必達を誓いました。



NGPの基本理念を学ぶ



挨拶訓練も全員で取り組む

決意表明

東北支部
 (株)榎並商会 佐藤 真

帰社後、まず何をしますか?

自社の在庫をすべて捨てます。
 そしてNGPの部品を登録します。
 各自の夢を明確にし、社内に掲示する。

生産登録会社にはいつなりますか?
 2月10日(土)

社内体制をどうしますか?

社内の人員配置を再度明確にする。
 足りない分は人の補充をする。

総合感想文

もう迷いはありません。
 いちからスタートではなくゼロからスタートです。
 講師の方々ならびにNGP会員全ての方々に早く恩返しをします。
 榎並商会の急成長に期待していただきたいと思います。

NGP通信欄

平成18年
 12月15日加入



支部名 東北支部
 社名 有限会社榎並商会
 住所 福島県郡山市田村町上行合字 北古川47-1
 TEL 024-944-4100
 FAX 024-944-4400
 代表者名 代表取締役 榎並憲治

一言

この度12月より組合員として入会させていただきました榎並商会と申します。本部並びに東北支部組合員様には大変お骨折りを頂き本当にありがとうございます。
 今まで7年間リサイクル部品を販売してまいりましたが何か足りないと思っていました。本当にリサイクル部品をネットで販売するなら「NGPでやりたい」と常々思っておりました。この想いが叶い心より嬉しい限りです。社員14人で小規模会社でございますが、初心に帰り社員一同一つになってがんばります。よろしくお願いたします。

<組合員情報変更>

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
北海道	(株)ケーエー車輛	会社組織	(株)ケーエー車輛	19年1月26日
東海	トヨタエコパーツ岐阜(株) 岐阜店	移転	〒500-8132 岐阜県岐阜市尼ヶ崎町1丁目18番地 電話058-249-5785 FAX058-249-5786	19年1月5日

㈱マグフクオカ(福岡県福岡市)



横田直
代表取締役社長

九州支部の同社は創業が平成6年12月。NGPへの加入は同年10月で、加入した後に創業を開始しました。今回お話を伺った横田直社長は、元々は空港で使用する特殊車輛のメンテナンスを行っていたという、異色の経歴の持ち主です。

「弊社は大阪のメーカーと協力しリビルトコンプレッサーを販売しています。これは弊社で扱う商品の約半数に当り、リビルト部品のスペシャリストとしての販売にはどこも先自信があります。」

創業当時は不況の波が押し寄せてくる中で、定年まで勤めるよ先将来を見据えて47歳で起業を決意しました。

それまで私が空港でメンテナンスしていた車輛は殆んどが外車で、部品取寄せにも時間が掛かりました。これらの車輛が故障すると航空機の運行に支障をきたす恐れもあり、交換用リビルト部品が常にストックしてありました。そこで私は『今後は日本でもリビルト部品の波が来る』と考え、リサイクル部品の販売に取り組むことにしたのです。

弊社に生産部門は無く、販売のみを行っていますが、それでもコンピュータを使ってリサイクル部品の販売ができるようになった点とタイムリーに共有在庫から必要な部品が取り寄せできることは非常に有り難く、NGPには感謝しています。今後は地域顧客を大切にいき、地域密着型の営業を行って参ります。」

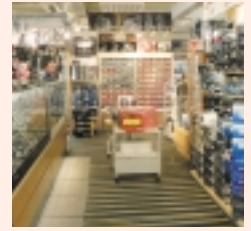


㈱マグフクオカ外観
建物は綺麗で明るいイメージ

ファンの声

光自動車㈱ (福岡県福岡市)

光自動車は創業50年に迫る老舗であり、鉋金塗装も得意とする指定工場。入庫台数は月平均500台に上り、オールマイティーに何でもこなすのが信条で、低VOC塗料活用にも積極的に取り組んでいます。品質管理は経営の骨格という考えから、ISO9001も取得。また九州で最初の「ミニカーギャラリーピット店」で平成10年から店舗とインターネットを通じてミニカーも販売しています。半分がミニカー、もう半分がドレスアップパーツというイメージの顧客が退屈しないショールームを目指し、2階には膨大な量のミニカーが展示、販売されています。お話を伺った森文洋社長は「マグフクオカさんとの付き合いは10年程で、安く品質の良いリサイクルパーツを早く届けてくれるので非常に助かります。このことは顧客のニーズそのものでもあります。ただリサイクルパーツを使う上で困るのは、グループがいくつもあり互いに競合しているため問い合わせ、検索に時間がかかります。今後は複数のグループの商品をインターネット上で一元検索できるシステムができれば非常に助かります。部品の値段の上昇にも、インフラのさらなる整備、スピード、効率アップを図って対抗して欲しいですね」と語ってくれました。



光自動車㈱2階のミニカー売り場。
膨大な品揃えは圧巻



同社外観。大型の工場で、塗装ブースが3基、フレーム修正機が2基設置されている

㈱パーツランド東部(熊本県熊本市)



花城強
代表取締役社長

同社は昭和54年創業。入庫台数は月200台程で、生産点数は月600点、在庫点数は8,000点程。今回お話を伺ったのは同社の花城強社長です。

「平成4年からは鉋金塗装工場『㈱カーメイク』も創業し、弊社を現在の形にしたのが平成14年。社員数は双方合わせて20名程です。カーメイクで引き取った事故車を直接弊社で解体できるメリットは大きく、さらには弊社で生産を行った部品をカーメイクで鉋金塗装に使用することによってコストが大きく削減でき、また他のNGPメンバーから仕入れた部品を使用する場合もコスト削減になります。現在はカーメイクとパーツランド東部合わせて一般ユーザーからの車両仕入れが月20台程になります。」

NGPに加入し10年。生き残るため加入して本当に良かったと思っています。その利点はやはりグループの部品が売れることに尽きます。商売の範囲も広がり、全国から来る部品を売れるようになりました。ISO14001も平成16年に取得して環境にも貢献できる解体工場を目指し、こまめな節電といった小さなことから取り組んで経費削減の効果も上がり、経営体質改善の成果も上がって社員の環境に対する意識も向上しました。今後はプレス機の導入等、設備面でも充実を図って参ります。」



㈱パーツランド東部外観。
質実剛健な作り、気さくな従業員が集う

ファンの声

㈱河喜多自動車 (熊本県菊池郡)

認証工場である同社はBSサミットにも加入、24時間レッカーサービスも行い、ここから入庫してくる顧客を同社の固定客としていく努力を行っています。現在は事業拡大のために第2工場も建築中で、こちらでは1日~2日で仕上がる作業を中心に予定。同工場では四輪アライメント用の設備も導入します。また認証資格の取得もあって保険会社経由の入庫も増え、同様に固定客とする努力を重ねています。こういった入庫は保険会社に迷惑を掛けられないとの意識から緊張感を持って取り組めるため、非常に良い刺激になっていると言います。同社の河喜多忠則社長は「弊社は社員数10名。鉋金塗装の入庫は月に120台程。また『シューリーズ』という、熊本県の鉋金塗装工場で組織するグループにも所属しています。」



河喜多忠則
代表取締役社長

パーツランド東部さんとは知人の紹介で知り合い、付き合いは25年以上にもなります。両社とも昭和54年の創業で社長同士の年齢が近いこともあって、意気投合して取引が始まりました。部品の有無を電話ですぐに答えてくれて、部品の状態から取り付けの方法まで細かく教えてくれるので助かります。こちらの言いたいことを分かってくれるので、話が早い上、要望した部品の組み合わせもすぐに理解してくれるので本当に助かります。」と語ってくれました。